

編 集 後 記

『放送大学研究年報』第39号をお届けいたします。本号には9本の論考を掲載することができました。ご寄稿くださった各位に感謝いたします。

コロナ禍が満2年を超えて続いています。そのなかで社会を動かしてこざるを得なかった経験が本号にお寄せいただいた論考にも色濃く反映しています。コロナに対応するために採用せざるを得なかった勤務や授業のスタイルのなかには、コロナ後にも活かせるものがあるのではないかという議論は早い頃からありましたが、今思うと、コロナがこんなに続くとは思っていなかった時期の楽観的な議論だったかもしれません。今はコロナ終息のためにできる努力をすることに集中すべきですが、それでもやっぱり、この経験を後にどう活かすのかという議論をじっくり行う時期の来るのを待望してしまいます。

本年報に掲載された論考につきましては、創刊号以来の著者の了解を得られた分を電子データにして、本学の機関リポジトリManapiO（まなびお、<https://ouj.repo.nii.ac.jp/>）および附属図書館ウェブサイト（<https://lib.ouj.ac.jp/report.html>）から閲覧できるようにしております。こちらもぜひご利用ください。

放送大学研究年報編集委員会

委員 長 近藤 成一
副委員長 河原 温
委 員 奈良 由美子・苑 復傑・齋藤 正章
廣瀬 洋子・安池 智一

放送大学研究年報 第39号 2021年

2022年3月23日 印刷

2022年3月25日 発行

編集兼発行者 放 送 大 学

〒261-8586 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目11番地

電話 043-276-5111（代表）

印 刷 者 高山印刷株式会社

〒113-0034 東京都文京区湯島1-1-12
